令和５年度第１回平塚市いじめ問題対策連絡協議会　会議録

日　時　令和５年６月２８日（水）　午前１０時００分～午前１１時００分

場　所　平塚市役所本館７２０会議室

出席者　【委員】平塚市小学校長会、平塚市立中学校長会、平塚市スクールロイヤー、平塚児童相談所、横浜地方法務局西湘二宮支局、平塚警察署生活安全課、神奈川県警少年相談・保護センター湘南方面事務所、平塚警察署少年補導員連絡会、平塚市ＰＴＡ連絡協議会、こども家庭課、人権・男女共同参画課、青少年課青少年相談室、子ども教育相談センター

　　　　【事務局】教育指導課

１　開　会

　　本会議は、傍聴者を募らない非公開の会議である。しかし、本会議の要旨、意見については事務局でまとめた後、平塚市のホームページで公開する。

２　あいさつ

３　自己紹介

４　連絡協議会の趣旨説明

　　○事務局から、「平塚市いじめ問題対策連絡協議会条例」について説明する。

５　協　議

（１）「平塚市いじめ問題対策調査会」報告について

・趣旨説明

・委員の委嘱

　　　　・正副委員長の選出

　　　　・協議について

（２）いじめ問題等に係る関係機関の取組や情報について

＜平塚市小学校長会＞

いじめアンケート調査等では、数多く事案があがるが、解決に向けて聞き取りなど取り組んでいる。担任は日頃から子どもたちをよく見ており、その場で解決できるケースが多いが、いじめ事案としてあがったものについては、周囲との関係性を中心に継続して見るなど、特に注意している。インターネット関係等、見えないところで発生するトラブルも多い。今後も、子どもたちを取り巻く環境の変化にあわせて対応していく必要がある。

＜平塚市立中学校長会＞

４月に「いじめ防止基本方針」を生徒と読み合わせて共有している。依然ＳＮＳ等での生徒同士のトラブルがあとを絶たない。教育相談計画を立て、いじめの未然防止・早期発見に向けて、生徒への定期的なアンケート調査の実施や二者面談・三者面談の機会を設けている。コーディネーターやスクールカウンセラーも含め、学校全体で連携を取り、いじめの内容によっては、その他関連機関と連携し組織的対応を行っている。

＜平塚市スクールロイヤー＞

令和3年度から平塚市のスクールロイヤーを担当している。教育委員会や学校からの相談を受けている。現状としてはいじめの相談は少ない状況である。研修については、教職員に向けて、いじめ対策を中心に実施している。出張授業については、児童・生徒に向けた「いじめ防止授業」を実施している。いじめに関する実際の事案を紹介し、具体的な内容を共有して、いじめ防止につなげている。

＜平塚児童相談所＞

いじめそのものの相談は少ないが、暴力被害などによる子どもの心理的なケアについての相談という形で、かかわりを開始することはある。虐待対応の支援については、関係機関連携が欠かせないが、要保護児童対策地域協議会の関与なしには個人情報を含む情報の共有はできない。虐待以外の相談は、保護者自身の相談申込みから始まる。関係機関との情報共有等は、保護者の了解がない時点ではできないが、できる限り保護者の了解を得ながら、連携を図りたい。

＜横浜地方法務局西湘二宮支局＞

様々な人権に係る諸問題解決のため、各小中学校にＳＯＳミニレターを配布している。「子どもの人権１１０番」通話無料ダイヤルを設置していて、特に夏休み終盤の８月２３日（水）から２９日（火）を強化週間として対応する予定である。その他にも、ＳＮＳ等を活用した連絡体制を構築している。

＜平塚警察署生活安全課＞

現在いじめ対応中の事案はない。いじめについて、保護者等から相談を受けることもあり、相談内容によっては、学校側に確認をした上で対応する等している。保護者と学校との仲介役として相談にのることが多い。なかには、事件として扱ってほしいという保護者もいるが、学校と連携して対応している。

　　＜神奈川県警少年相談・保護センター湘南方面事務所＞

現在平塚市におけるいじめ対応中の事案はない。案件を持ち込まれた場合は、関係機関と連携して対応していく。非行防止教室やスマホ教室等の出前授業で学校に赴き、ネットいじめや暴行、傷害について伝えることもある。今後も、未然防止や解決に向けて、他機関と連携していきたい。

　　＜平塚警察署少年補導員連絡会＞

オンライン上のいじめ問題に着目したＤＶＤを作成し、市内小中学校へ配付したので、引き続き、活用してもらいたい。内容は小学校用、中学校用と分かれている。ＤＶＤ教室の開催に向けて計画している。現在、各学校に周知して受け付けている。

＜平塚市ＰＴＡ連絡協議会＞

いじめ問題を直接的に扱った活動はないが、「地域の保護者がみんなを見守っているよ」というメッセージを出す必要がある。例として花ボランティア、読み聞かせボランティア、あいさつ運動等を実施している。間接的な取組ではあるが、安心して暮らせる環境づくりを継続していきたい。いじめ防止や早期発見という点で、親子のコミュニケーションに向けた啓発等、貢献していきたい。

＜こども家庭課＞

子どもの総合相談というかたちで対応している。現状として、直接的ないじめに関する相談はない。家庭の支援を行う中で、背景にいじめが存在している場合もある。今後も、家庭内での心配事があればすぐに連絡をいただき、連携していきたい。

　　＜人権・男女共同参画課＞

いじめ重大事態の再調査会を所管している。重大事態が発生した場合、教育委員会が調査し、その結果が市長に提出される。そこで、再調査が必要であれば調整を行う。

＜青少年課青少年相談室＞

青少年相談とヤングテレホン相談を受け付けている。青少年相談では、６～１９歳の青少年又はその保護者を対象としており、電話相談や来所相談で対応している。ヤングテレホン相談は６～１９歳の本人を対象にメール、手紙や電話でも受け付けている。いじめ問題をはじめ、学校生活、家族関係、不登校、対人関係等、幅広く相談があり、必要に応じて関係機関と連携している。

＜子ども教育相談センター＞

教育、心理、福祉等、専門的な視点でいじめ問題に取り組んでいる。教育相談の主訴は不登校や生活行動が多いが、背景にいじめが疑われることがある。内容によっては保護者同意の上、学校や関係機関と連携する。スクールカウンセラー派遣事業では、市内の学校に２週に１回もしくは週に１回スクールカウンセラーを派遣し、いじめの未然防止、早期発見に向けて取り組んでいる。スクールソーシャルワーカー派遣事業では、福祉的な課題に対し関係機関と連携し、ネットワークの構築に取り組んでいる。

質疑

＜平塚市ＰＴＡ連絡協議会＞

スクールカウンセラー派遣事業において、スクールカウンセラーの異動もあると思うが、スクールカウンセラー同士の情報共有や課題解決に向けた取組はどうしているのか。

＜子ども教育相談センター＞

スクールカウンセラーの人事異動に伴う引継ぎは、保護者の同意を得て行っている。スクールカウンセラー同士の情報共有や課題解決に向けた取組としては、月に１回程度連絡会を設けている。子ども教育相談センター内の相談員とも電話等でケースの相談を行っている。

＜平塚市ＰＴＡ連絡協議会＞

今後ますますスクールカウンセラーの需要が増えると思う。派遣日数の増加等検討をお願いしたい。

（３）その他

＜事務局＞

本連絡協議会は、原則として年２回開催する。次回は２月の開催を予定している。

６　閉　会